

松濤園には4棟の展示館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その周りを三之瀬瀬戸を借景とした日本庭園が囲み、散策しながら歴史に触れることができる施設です。

陶磁器、草花の彩り 陶磁器館 Ceramics Museum

陶磁器は、古くより人々の暮らしと共にあり、その多くに文様が描かれています。文様は人々の願いや祈りが込められて施されることから始まり、事象、器物などありとあらゆるものに意味を見出して描かれました。中でも植物文様は、その生命力に思いを託して描かれることが多く、四季折々の草花をいとおしむ日本人が持つ感性と相まって、古くから愛される文様です。例えば、「松竹梅」という文様は中国から伝わり、厳しい冬の寒さに耐えて緑を保つ松と竹、他の花に先駆けて咲く梅を、長寿などの象徴としました。松竹梅は、古伊万里にもよく描かれており、古くから愛される文様であることが伝わります。

本展では、当館の珠玉の古伊万里の収蔵品を中心に、楚々とした草花文や、華やかな花卉文など、生命力に満ちた多様な植物文様をご紹介します。併せて、令和6年を迎えることを祝い、干支である辰(龍)文の名品も展示します。

また、明治以降に活躍した陶芸家たちの作品の中から、絵付けという「彩り」に注目してご紹介するコーナーも併設します。



「色絵花卉文八角瓶」
伊万里・柿右衛門様式・1670-90年代

朝鮮通信使をもてなした料理 朝鮮通信使資料館 御馳走一番館 Commemorative Museum of Korean Missions



「朝鮮人御饗応献立」延享5(1748)年・冊子装

朝鮮通信使が来日すると、江戸までの各地に接待場所が設けられ、豪華な料理がだされました。接待を担当する各藩は対馬藩より朝鮮通信使の食の好みを受け、新鮮な魚を提供するための生簀や、新鮮な肉を提供するための鳥小屋や家畜小屋を作り、鶏や豚などを飼育しました。広島藩の接待場所に定められた下蒲刈島では、一朝に生きた雉を300羽提供したと朝鮮通信使の記録にも残っており、幕府の外交記録をまとめた通航一覧には「安芸蒲刈御馳走一番」と広島藩のもてなしが一番であったと記録されています。

本展では、朝鮮通信使をもてなした料理を残された資料や、「七五三膳」、「三汁十五菜」の復元模型によりご紹介します。



あかりの館 (旧吉田邸) Lamp Museum

山口県上関から移築した商家を利用して、世界の灯火器を展示しています。



蒲刈島御番所 (復元) GOBANSHO (guard house)

江戸時代、この下蒲刈にあった御番所を、上関に現存している建物を参考に復元しています。

◆周辺施設のご案内

- **蘭島閣美術館** 広島県呉市下蒲刈町三之瀬200-1 ☎0823-65-3066
開催中～1/8(月・祝) 『日本画の巨匠たち～日本美術院の作家を中心に』
- **蘭島閣美術館別館** 広島県呉市下蒲刈町三之瀬195 ☎0823-65-2500
開催中～1/15(月) 『寺内萬治郎小品集一裸婦に捧げた生涯』
- **三之瀬御本陣芸術文化館** 広島県呉市下蒲刈町三之瀬311 ☎0823-70-8088
開催中～12/18(月) 『特別展 今井真正 土から生まれる命の輝き』

松濤園
facebook



展示やイベント情報など、随時更新♪
QRコードをスキャンまたは、
下記アドレスより facebook ページへアクセス!
<https://www.facebook.com/shoutouen/> 🔍 検索

◆交通 Access

🚗 広島市内から車で約60分

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡って最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から松濤園まで80m。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈!
詳しくは、くれ観光情報プラザ TEL.0823-23-7845 まで。

🚆 呉から電車とバス

JR 呉線で広島または仁方駅で下車し、駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交株式会社のバス「田戸・大浦・宮農センター・沖友天満宮方面」行きに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。(バスは上下とも1時間に1本ほど運行しています。)

バスに関するお問い合わせ 瀬戸内産交株式会社 ☎0823-70-7051

